

2020年3月期 第3四半期

決算補足説明資料

2020年2月13日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証一部)

■ 2020年3月期 第3四半期 連結損益状況

■ 2020年3月期 第3四半期 セグメント別実績

■ 2020年3月期 第3四半期 営業外及び特別損益等

■ 2020年3月期 第3四半期 営業利益分析

■ 2020年3月期 第3四半期 連結財務状況：対前期末

■ 2020年3月期 第3四半期 連結キャッシュ・フローの状況

■ 2020年3月期 通期業績見込み

2020年3月期 第3四半期 連結損益状況



	2019年3月期 第3四半期 実績		2020年3月期 第3四半期 実績				2020年3月期 通期予想 (本日 2/13修正)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前年同期		金額 (百万円)	達成率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	104,374	100.0	107,288	100.0	+2,914	+ 2.8	143,000	75.0
営業利益	2,558	2.5	4,039	3.8	+1,481	+ 57.9	5,300	76.2
経常利益	1,827	1.8	3,667	3.4	+1,840	+ 100.7	4,800	76.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲447	-0.4	2,692	2.5	+3,139	-	2,800	96.1

● 2020年3月期 第3四半期業績概要 (対前年同期比)

- ▶ 売上高：中国・米国での新規立ち上げ等により+2,914百万円 (+2.8%)の増収。
- ▶ 営業利益：国内の運送費や人件費等固定費の減少、米国新規立ち上げの混乱鎮静化に伴うコスト減少等により、+1,481百万円(+ 57.9%)の増益。
- ▶ 経常利益：営業利益の増益に伴い +1,840百万円(+100.7%)の増益。
- ▶ 純利益：経常利益増加に加え不動産売却益(1,919百万円)により+3,139百万円の大幅増益。

● 為替レート

損益換算レート (単位：円)	2019年3月期 第3四半期 平均レート	2020年3月期 第3四半期 平均レート	変動率	業績予想レート
ドル	109.6	109.2	▲0%	109.0
ユーロ	131.0	122.7	▲6%	122.0
メキシコペソ	5.8	5.7	▲2%	5.7
人民元	16.9	15.9	▲6%	15.8
インドルピー	1.6	1.6	▲3%	1.5
タイバーツ	3.4	3.5	+2%	3.5
ロシアルーブル	1.8	1.7	▲6%	1.7
ブラジルリアル	30.7	28.1	▲8%	27.7

2020年3月期 第3四半期 セグメント別実績



	売上高			営業利益		
	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	対前年同期 増減	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	対前年同期 増減
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)
日本	41,118	41,318	+201	1,020	2,132	+1,112
北南米	33,018	31,777	▲1,241	1,220	719	▲502
欧州	17,500	19,699	+2,199	▲1,395	▲320	+1,074
中国	12,611	14,541	+1,930	127	312	+185
アジア	17,325	16,827	▲498	1,608	1,479	▲129
連結調整	▲17,197	▲16,873	+324	▲23	▲283	▲259
合計	104,374	107,288	+2,914	2,558	4,039	+1,481

● 2020年3月期 第3四半期の地域別業績のトピックス (対前年同期比)

- ▶ 日本【増収・増益】樹脂製品の増産が寄与。生産改善による品質ロス及び異常便の削減等や本社費の圧縮により、利益率も改善。
- ▶ 北南米【減収・減益】メキシコの景況悪化の影響を受け売上減。輸入環境の悪化（為替等）により、米国及びブラジル拠点の材料輸入コスト及び原材料費が増加。
- ▶ 欧州【増収・損失減少】環境規制の強化等で英・独で売上減。円高により円換算後の売上高縮減。独子会社の不採算製品の販売価格の見直し及び人員削減を含む業績改善、新規立ち上げの売上寄与に加え、立ち上げに伴う品質コスト・物流コストも減少し営業損失は減少。
- ▶ 中国【増収・増益】新環境規制に適合する部品の需要増および新規立ち上げが売上・利益に寄与。固定費抑制により、利益率も向上。
- ▶ アジア【減収・減益】景気減速を背景に韓国は顧客減産の影響を受け、タイも受注好調に陰り。インドは環境規制の強化や金融情勢等が受注に影響。タイ労働法改正で退職関連費用が追加。

2020年3月期 第3四半期 営業外及び特別損益等



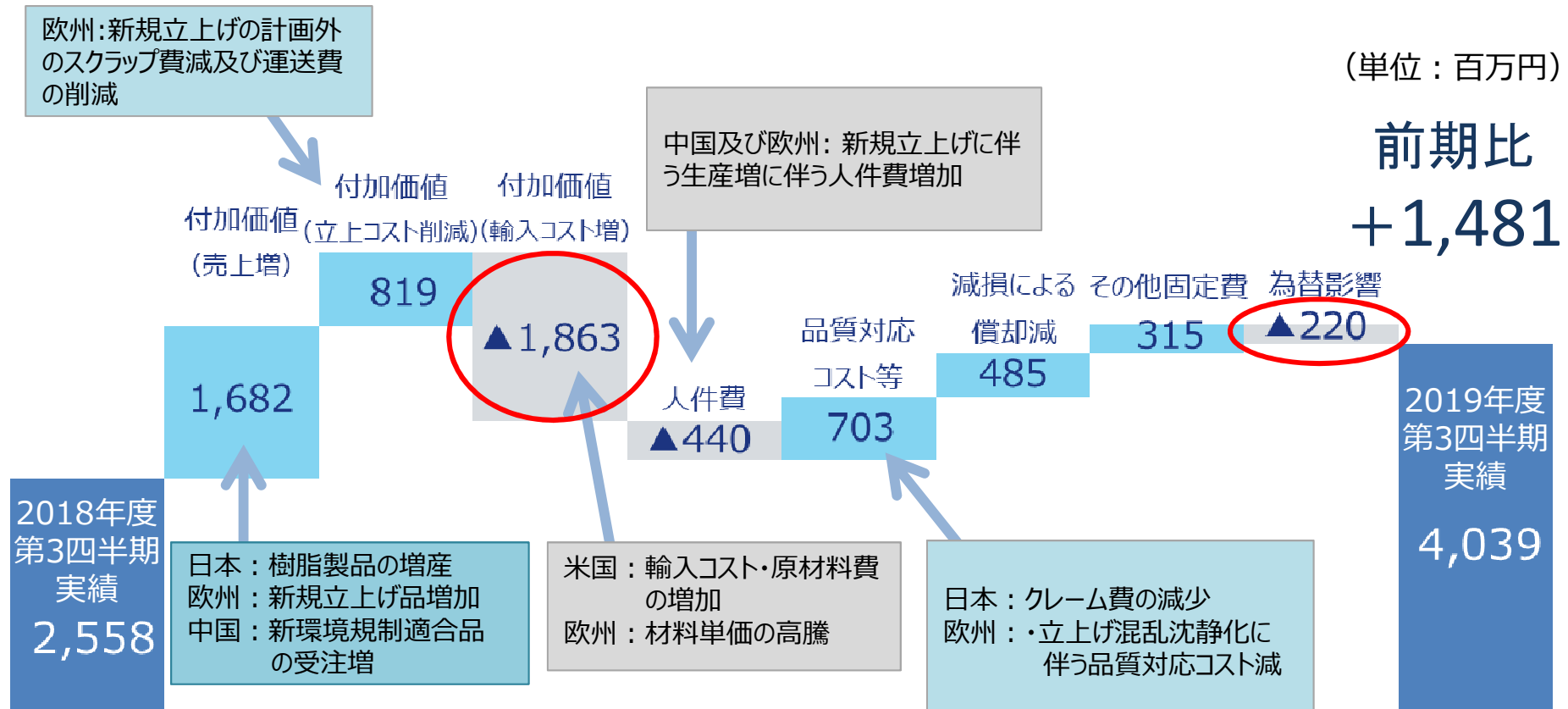
(増減額の符号は対利益符号)

連 結		2019年3月期 第3四半期 実績	2020年3月期 第3四半期 実績		主な増減要因 (金額は百万円)		
			金額 (百万円)	金額 (百万円)		対前年同期	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益		2,558	4,039	+ 1,481	+ 57.9		
営業外 損益	営業外収益	391	791	+ 400	-	受取利息 +46 雑収入 +334 (保険金及び補助金等)	
	営業外費用	1,122	1,163	▲ 41	-	支払利息 ▲44	
経常利益		1,827	3,667	+ 1,840	+ 100.7		
特別利益		5	1,937	+ 1,932	-	不動産売却益 +1,919	
特別損失		455	459	▲ 4	-		
税引前利益		1,377	5,145	+ 3,768	+ 273.5		
法人税等		1,149	1,865	▲ 717	-	税金費用の実際負担率 前期：83.4% 当期：36.3%	
非支配株主利益		676	588	+ 88	-		
親会社株主に帰属する 四半期純利益		▲447	2,692	+ 3,139	-		

2020年3月期 第3四半期 営業利益分析



全体で見ると増収かつ、コストコントロールも改善傾向にある。
 ただし、為替影響含む輸入環境等の外部環境要因の不透明感は残る状況。



注：付加価値（売上増）＝連結全体の売上増（為替補正後）×前期付加価値率（為替補正後）

2020年3月期 第3四半期 連結財務状況：対前期末



連 結		2019年3月期末		2020年3月期 第3四半期末			
		実績 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)
資 産	流動資産	59,352	58.1	57,200	57.2	▲ 2,152	総資産： ▲2,152 減少 ① 現金預金▲1,881 (不動産売却収入が発生した一方、運転資本が増加し、 和解金支払・借入金返済を実施) ② 棚卸資産▲1,401 (在庫低減活動の効果) ③ 土地、建物及び構築物▲875 (不動産売却) ④ 建設仮勘定+882 (設備投資による(含む設備内作))
	固定資産	42,800	41.9	42,800	42.8	▲ 0	
	資産合計	102,152	100.0	100,000	100.0	▲ 2,152	
負 債	流動負債	52,935	51.8	50,922	50.9	▲ 2,013	負債総額： ▲2,973 減少 ⑤ 支払手形及び買掛金、電子記録債務▲1,294 (在庫低減活動の影響ほか) ⑥ 短期借入金▲1,776 (有利子負債圧縮) ⑦ 未払法人税等、未払消費税等+861 (増収増益による税金費用の引当増加) ⑧ 長期借入金▲572 (約定返済分、一部は借換え実施)
	固定負債	14,571	14.3	13,611	13.6	▲ 960	
	負債合計	67,507	66.1	64,533	64.5	▲ 2,973	
純資産合計		34,646	33.9	35,466	35.5	+ 821	純資産： +821 増加 ⑨ 利益剰余金+1,964 (四半期純利益計上した一方、前期末の配当金を支払) ⑩ 為替換算調整勘定▲901 (円高による海外子会社株式の含み損益悪化)
負債純資産合計		102,152	100.0	100,000	100.0	▲ 2,152	

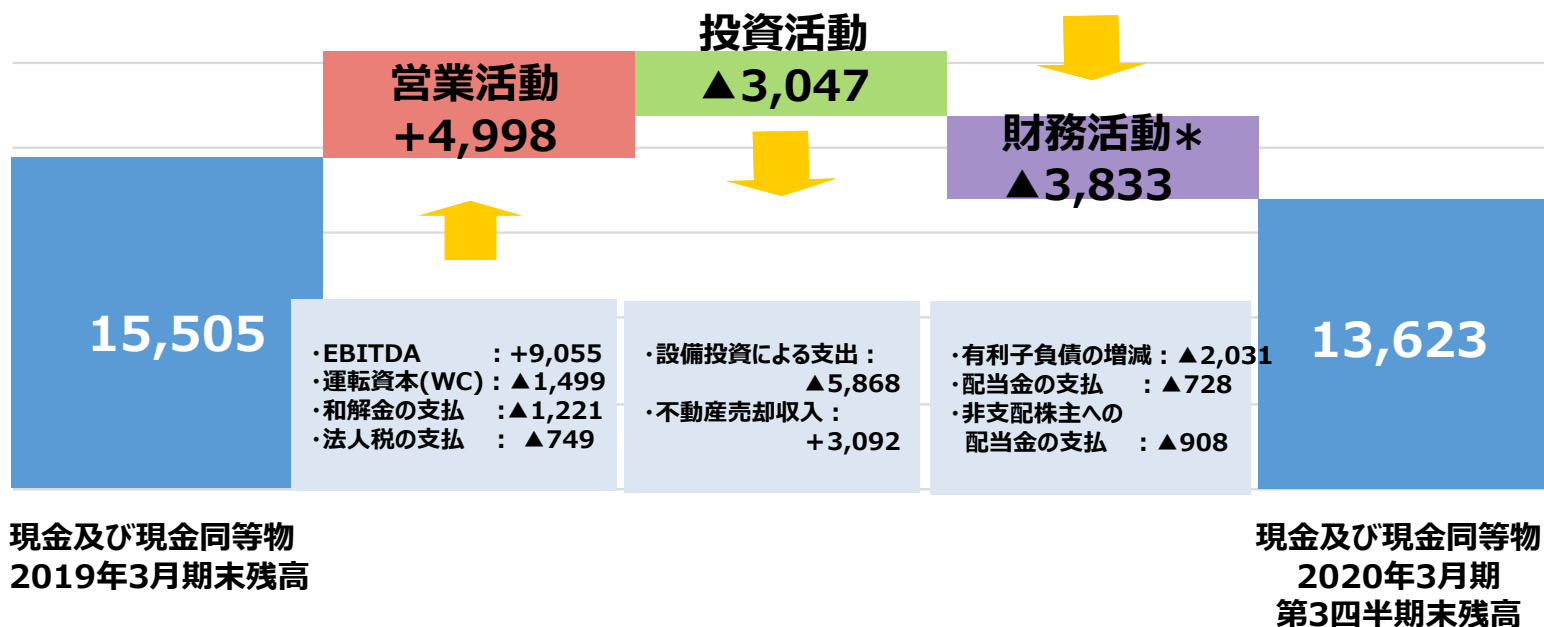
- ・手持ちキャッシュ：月商の1.14ヶ月分
- ・流動比率：112.1%⇒112.3%、当座比率：66.2%⇒66.3%
- ・有利子負債：358億円⇒334億円、D/E：1.03⇒0.94、ネットD/E：0.58⇒0.56
- ・純資産比率(対総資産)：33.9%⇒35.5%へ改善

2020年3月期 第3四半期 連結キャッシュ・フローの状況



● 2020年3月期 第3四半期連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



* 現金及び現金同等物に係る換算差額 (▲166百万円) を財務活動に含めております。

● 設備投資/減価償却の状況

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	
		実績	対前年同期
設備投資額	6,298	5,868	▲ 429
減価償却費	4,318	3,910	▲ 409

第3四半期実績および最近の業績動向等を踏まえて通期予想を修正

連結	2020年3月期 前回予想 (2019年11月14日)	2020年3月期 今回予想 (2020年2月13日)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
	通期見込 (百万円)	通期見込 (百万円)		
売上高	143,000	143,000	+0	+0.0%
営業利益 【営業利益率】	4,500 +3.1%	5,300 +3.7%	+800	+17.8%
経常利益 【経常利益率】	4,000 +2.8%	4,800 +3.4%	+800	+20.0%
当期純利益 * 【当期純利益率】	1,800 +1.3%	2,800 +2.0%	+1,000	+55.6%
一株あたり純利益 (円)	+49.46	+76.93	-	-
配当 (円)	15.0	15.0	-	-

*親会社株主に帰属する当期純利益

連結通期業績予想を修正した要因

以下の業績動向を踏まえ、通期見込予想を修正します。

- ・営業利益・経常利益：国内・海外拠点における生産効率改善や人件費等の経費削減の効果等が見込まれるため。
- ・当期純利益：欧州で人員削減に伴う特別損失が発生するが、営業利益及び経常利益の増加により前回予想を上回る見通し。

このプレゼンテーションで述べられている三櫻工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。